

聞いてきました
みんなの広場 57

ふれあいの居場所 「居場所 ゆきえさん家」

お話を伺ったのは、代表の早川 美恵子さんです

『ひとりじゃないよ!!』

活動を始めたきっかけは

民生児童委員として活動する中で、独り暮らしや核家族等が増え、近所付き合いの希薄化により、孤立する住民の姿を目にする機会が多くなりました。そこで、隣近所で助け合える地域づくりを目指し、令和3年1月に板井地区でふれあいの居場所を開設しました。

主な活動内容は何か

お助け隊(独り暮らし高齢者の生活援助)、健康教室、引きこもり対応、筋トレ、移動パン屋、野菜作り、安心安全な居場所の提供などを行っています。

担い手や利用者はどれくらいですか

担い手は通常7名で、お助け隊の14名を入れて合計21名です。コロナ禍の影響等で活動を休止していた期間があったため、昨年7月から12月までの間における担い手も含めた利用者は、延べ480人ほどでした。

利用者の感想は

活動場所が、地域住民の協力で空き家をリフォームした民家のため、利用者か



らは、「ほっとできる居場所、自分の実家のような居心地の良いところ」と大変好評をいただいております。



担い手の皆さん

楽しみは何ですか

担い手自身もほっとできる居場所であり、いつも笑顔でいられることです。

今後やってみたいことは

利用者の要望に合わせた手芸や脳トレをはじめ、地元県立女子大生の協力を得て、地域の子供たちの勉強等の支援を実施したいと考えています。



*令和4年7月現在、町内25か所のうち、24番目にできた「ふれあいの居場所」です。

お問い合わせ 居場所 ゆきえさん家
 ☎ 65-7678 (会長：早川)
 今回は羽鳥委員が取材しました

たまむら 議会だより
ワクチンも 4回したが 未だ怖い

(読み人 どりーまん)

一方、ロシアによる軍事侵攻が続くウクライナでは、もつじき冬を迎えます。生死の境をさまよう人々が、厳しい冬をどう乗り越えていくのか心配されます。「平和」な生活もまた、当たり前ではなくなってきたのが、今の世界です。



議長 石内 雄
 副議長 笠原 國雄
 委員 新井 孝次
 委員 松本 幸喜
 委員 堀越 真由子
 委員 羽鳥 光博
 委員 小林 一幸
 議長 小林 一幸

(松本幸喜)

「買い物や近所とのお付き合い等、今まで当たり前に行ってきた日常に特別な意味を感じるのには私だけでしょうか。」
 買物や近所とのお付き合い等、今まで当たり前に行ってきた日常に特別な意味を感じるのには私だけでしょうか。

さて、この「議会だより」は、次回100号を迎えることから、一部リニューアルをする運びとなりました。読みやすく、より多くの方に興味を持っていただけるよう、内容も徐々に変更していく予定です。暗い話題が多い昨今ですが、希望の持てる玉村町になるよう議会としても取り組んでいきたいと思えます。今後、新たな「議会だより」をご愛読くださいますようお願いいたします。

こちら編集室

次回定例会の予定

12/1 木
 ~12月

本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます

9月議会の傍聴者は29人でした(男18人・女11人)

